

「富山県 FA タウンミーティング 2021」 議事録

【日時】 2021 年 2 月 20 日（土） 16:30~18:30

【場所】 富山県民会館 3F 304 号室

開会挨拶

(公社) 富山県サッカー協会 会長 根塚 武

皆さん、こんにちは。

日頃より富山県サッカー、北信越サッカー、日本サッカーの為に尽力いただきましてありがとうございます。

昨年 8 月 8 日付けを持ちまして、富山県 FA の会長を仰せつかりました根塚と申します。

一昨年 8 月に天皇杯チケット問題に単を発し、不正会計等がマスコミを通じて報じられ、社員総会、臨時社員総会メディアブリーフィングを通じてお伝えしてきましたが、皆さんに対してお伝えしきれなかったことも多数ありますので、今回タウンミーティングとさせていただきます。

決議事項のない臨時社員総会というのが正式名称なので、このような場で、皆さんと対話し、意見を交換し、次への歩みへとつなげていきたいと思っております。

限られた時間ではありますが、お伝えできる部分はお伝えをし、また、皆様からの意見を承ればと思っております。

本日は、バスケットボール B1 リーグの富山グラウジーズの高堂社長に本日お越しいただきました。

先日、新聞報道でもありましたが、射水市で新しいフットボールセンターの着工という事で、射水市生涯学習・スポーツ課様に来ていただきました。最後の方に施設の説明をしてもらいたいと思っております。

また、現在、カターレ富山が高知県で合宿をしていますが、新しく強化部長になられた遠藤強化部長が ZOOM を介して、参加をいただきコメントをいただく事になっております。

それでは、有意義な時間にしたいと思っておりますので、宜しく申し上げます。

ビデオメッセージ

(公財) 日本サッカー協会 会長 田嶋 幸三 様

みなさんこんにちは。日本サッカー協会の田嶋です。

富山県タウンミーティングにお集まりの皆様、日頃より、日本サッカー、そして富山県のサッカーの為に、そして多くの子供たちの為に尽力いただいている事、感謝申し上げます。ありがとうございます。

富山県サッカー協会は多くの素晴らしい選手を輩出しています。男子も女子も。

そして、根塚会長の下で新たな出発をしたところです。

根塚会長と私は本当に古くから、チームドクターとして活躍いただいた時からお付き合いをさせていただいております。

現場の事にも詳しい方です。そして、もちろんこのコロナ禍において、ドクターという立場からもっともふさわしい方が会長になられたと思っています。

日本サッカー協会とのパイプも密にさせていただいておりますし、私たちも心から、富山県サッカー協会の発展を祈っておりますし、サポートして参ります。

一緒に頑張っていきましょう。

不正及び不適切会計問題についての報告

(公社) 富山県サッカー協会 専務理事 横井 憲治

今日はタウンミーティングにお集まりいただき誠にありがとうございます。

私の方から不正及び不適切会計問題についてのご報告をさせていただきます。

今回の報告は、昨年 10 月の理事会で決定して、12 月 JFA に提出した報告書をもとに内容をご報告します。

この報告書は、監事、第三者調査委員会、理事会議事録に基づいて作成しています。

この一連の不正問題が発覚した経緯ですが、2019 年 8 月 14 日開催の天皇杯でのチケット不足問題が発生しました。

その際に監事より会計調査を行いました。その際にこの件とは別の不適切会計があると内部通報があり、調査を開始しました。

調査は、先ほど少し触れましたが、協会事務局による調査、協会監事による調査、それと第三者調査委員会の調査。この 3 つの調査に基づいています。

協会の調査は今年の 5 月の理事会に最終報告をして行っております。監事の報告は昨年の 12 月に中間報告、今年の 6 月に最終報告という形になっています。第三者調査委員会からは 4 月に一度報告書をいただき、6 月にも報告書をいただいています。

第三者調査委員会は、弁護士、公認会計士、有識者の方で構成されています。

これに絡んだ不正の方法は 3 つありました。ひとつは領収書の偽造によるものです。もうひとつは支払っていない架空領収書の発行をさせた。強要したというものです。もうひとつは領収書のないまま出金を行ったということです。

領収書の偽造は 15 件、架空領収書の発行は 52 件、領収書のないものは 18 件ありました。

この不正による処分を行っております。

就業規則による懲戒処分であります。前事務局長は、2019 年 12 月 5 日付けで解雇。

前専務理事は戒告であります。これも同じ 2019 年 12 月 5 日です。この後、前専務理事は 5 月 31 日に辞任しております。

原因は、すべてが現金の支払いによるものでした。現金を支払い領収書で受領するという方法をとっており、そこで不正が行われておりました。

もうひとつは証憑類の確認、入出金手続きの確認の確認、物品購入の納品の確認が行われておりませんでした。

前事務局長に計画の策定や予算の編成、執行に係る業務が集中し、組織的な内部牽制が欠如していた事です。事務局内での予算業務及び会計業務の指導管理がなされていなかった。

さらに、理事、理事会の審査や監査が機能していなかったという事が原因だと結論づけております。

これによって、再発防止、改善策を現在作成していますが、これについて、この後副会長より説明させていただきます。

前事務局長について、2020 年 8 月 27 日に富山県警滑川署に刑事告発し受理されました。現在も捜査が行われております。

この後警察の捜査により、新たな事実が確認されれば、追加で弁済を求める予定としております。

不正会計とは別に、不適切な会計も調査の結果わかりました。

2019 年 3 月に 3 種技術委員会において、未処理の現金が保管されているという事がありました。

調査したところ、返金すべきものがあつたという事です。いわゆるトレセン活動になります。

参加者の方に負担する参加料をいただいていたのですが、その方々に返金をしました。

もう一つは、2019年8月に4種の大規模大会が富山市で開催されました。その際に富山市の宿泊費補助金を対象外者も含め、水増し請求をし、いったん取得をしたが、その後全額返金をしたという事実がありました。こちらは領得という事実はなかったので不正会計と不適切会計の判断の線引きをしたところ です。

この後、各ステークホルダーの皆様への対応ですが、協会員の皆様へは今年の6月の定時社員総会、8月の臨時社員総会でご報告をしました。

その他ホームページで2019年12月、2020年5月、8月の計3回報告しています。

JFAへは2020年の10月27日に報告書を提出しています。

そして、2020年12月16日にJFAへ補助金の返金を行いました。

もうひとつ、私どもは公益社団法人の認定を富山県より受けております。公益認定等審査会に2020年2月6日に立ち入り検査を受けました。

そこで、様々な指摘を受け、4月30日に改善措置報告書を提出しました。10月22日、23日に2度目の立ち入り検査を受けました。

これについての指摘改善を2021年1月15日に改善報告書を提出しております。現在は経過観察中という事になっております。この後もう一度立ち入り検査を受ける予定となっております。

再発防止及び改善への取組み

(公社) 富山県サッカー協会 遠藤 忠洋 副会長

コンプライアンス委員会を担当しているので本日、皆様の前でご説明させていただきます。

私の方からは再発防止及び改善への取組みという事でご説明させていただきます。

先程の専務理事の説明と被るところはありますが、今回の不正事案の発生要因と未然防止に至らなかった要因と、どうしてこの様な不正が起こってしまったのかという事をしっかりと把握しなくてはいけないということを出させていただいております。

① 個人に事業の計画策定、予算編成、執行に係る業務が集中していた。

事業計画や予算編成に組織的に対応できていなかった。

予算の執行及び流用について、事務局の独断を容認していた。

予算執行や入出金業務の適正なプロセスが未徹底だったという事が考えられます。

② 予算・財務の業務に対する組織的な内部牽制が欠如

事務局内での支払方法の妥当性や証憑類の真実性の相互チェックが徹底していなかった。

理事による事業計画の変更、実行、報告のチェック機能が低下。

監事による組織運営上の課題や不正の兆候察知ができていなかったという事です。

次に、2020年度の取組みとして、どう取り組んでいくのかを決めていきました。

根塚会長からは富山県のサッカーファミリーの皆様、ステークホルダーの皆様の信頼をどうしても取り戻したい。その為には、信頼してもらえることをとんとんしてほしいという事でしたので、まず ①規程ルールの見直し、そして②内部統制の

構築を重点的に実施させていただきたいという事で動きだしております。

まず、はじめに、11 の新たな運営方針を策定させていただきました。

方針 1、組織運営等に関する基本計画を策定し公表する。

こちらの方は、我々が新任した 8 月の理事全員で共有させていただいています。

方針 2、適切な組織運営を確保するための役員等の体制整備

こちら役員会規程を 12 月の理事会で決議させていただいています。

方針 3、組織運営等に必要な規定の整備。

各種委員会の設置規程の整備や組織の明確化という事で、12 月の理事会で決議させていただいています。

方針 4 と方針 5 は一緒に説明させていただきます。

コンプライアンス委員会を設置しました。

こちらの方は、コンプライアンス強化の教育ということで、会長の思いもあり、立ち上げさせていただきました。

法令、協会における事業運営、各種規程、取引による契約、約款、その他倫理の遵守を推進すること。という事で、9 月の理事会で委員会設置を決議し、今までに 3 回開催させていただいております。

また、今回コンプライアンス強化の教育という事で、役員の方令上の職務と責任、職員の公益法人としての資質に関する研修を実施させていただいております。9 月の理事会では弁護士をお招きし、理事研修会を実施しました。予定では理事は年間 2 回実施をしたいと考えております。

つづきまして、社員のコンプライアンス意識向上のための研修会。こちらの方は 6 月の定時社員総会にて開催していきたいと思っております。

方針 6、法務、会計等の体制構築ということで、

こちらは 2021 年の 3 月の理事会で決議をする予定としております。

こちらの方は後ほどまた説明したいと思っております。

方針 7、適切で積極的な情報開示。

先程申しました通り、会長から皆様から信頼を回復するという事で、我々がお見せ出来ることはなるべくお見せしたい。という事で、2021 年の 1 月の理事会から、理事会報告をホームページでの公開を開始いたしました。

また、今回この 2021 年 2 月にタウンミーティングをするという形で、今まで我々がどう動いてきたのか、これからどう動いていくのかを皆様にお伝えする場として今回開催いたしました。

方針 8、利益相反を適切に管理するという事。

おそらく、こちらのほうを皆様が一番心配されるころだと思っております、

事務局の責務と権限の明確化。会計購買行為での相互牽制体制を構築する。

会計処理規則を制定し、証憑類の確認、入出金の処理手続きの承認、出納記録の確認の手順を定め徹底する。

物品購入は複数の事務局員による検品の実施をする。

こちらの方は、事務局の規定を2月に決議させていただきました。

会計処理規則を3月の理事会で決議予定としています。

こちらの方は以前もありましたが、一部変更させていただき、例えば、会計のフローチャートを策定しています。見積の流れ、検品の流れ、入出金の流れを、明確にし、誰もがこれをみれば同じことができるようなものをペーパーに落として、統一させていただきます。

会計チェックリストとして作成し、「この書類を提出してほしい」などがわかるように皆様に出したいと思います。

方針9、通報制度、窓口の構築。通報相談窓口を定め、倫理規範に反する禁止行為の通報窓口を設置します。

こちらは2月の理事会で決議されましたので、これから窓口を設置していきます。

予定としてはメールまたはFAXで、書面で受け付けて、受付し、コンプライアンス委員会が対応して報告をしていくという流れです。

方針10、危機管理及び不祥事対応体制の構築。

不適切事案に対する情報開示、関係団体への対応方法など協会の危機管理マニュアルを制定し運用する。こちらは2021年3月の理事会で危機管理のマニュアルが決議予定です。

方針11、加盟団体、チームのガバナンスの確保、コンプライアンス強化支援ということで、各種別、委員会、連盟においての各事業の経理処理の手引きの書面化を定型化し、帳簿の整備を義務化する。

こちらも3月の理事会にて会計処理規則を決議し、勉強会を開催したいと考えております。

続いて最後になりますが、

財務に対する内部統制ということで。

規則を作ったり、組織を作ったりしても、実際どう運用するのか、運用できているという事が重要だと考えております。

改善点と書類の流れを記載して、最終的に監事にみてもらうという流れになっています。

まずは、各種別委員会ですが、各事業終了の1か月以内に関係書類を提出いただく。また、委員会また会計の明確化。

2番、事務局の経理担当者、事務局長、専務理事は会計チェックリストに従って実施、支払いは原則振込。検品は数人で実施。

事務局からあがった書類は財務経理委員会で確認いただく、この時に監事にも協力いただき、新会計処理規則に基づいて財務委員会が行う。その後、OKであれば、役員会、理事会という形になっている。

役員と理事の責任の明確化。最後に今まで、監査は年1回だったが、2回に増やします。

前回の反省を踏まえ、監事が会計に係ってもらい、我々の情報を共有したいということで、回数を増やし。財務経理委員会のご協力をいただく。

いろんな書類を共有化して運用を徹底したい。基本的には財務経理委員会が確認をしていくが、その他の書類はコンプライアンス委員会に関わる。

最後になりますが、前回の不祥事で書類の不備、チェック機能不備、共有できていないなどの色々な背景があったが、今年度はルール、規程の見直し、組織の構築をし、次年度に関してはチェック機能をしっかりと継続的に、誰もができるようにやっていきたいと考えております。

JFA 会計セルフチェックについて

(公社) 富山県サッカー協会 常務理事・財務委員長 安田 隆

先程、組織図にもありましたが、財務経理委員会と言います。

JFA よりも標題にあります、セルフチェックという事を協会とともに行う事の内容について説明させていただきます。

主に、JFA から来ている資料をもとに、先日 JFA より説明会があり、私の方で、資料を加筆させていただいたものです。今ほども説明がありましたが、内部統制、リスクマネジメントの徹底をさせたい。業務フローの可視化、財務状況が見える状況、誰もがいつでも確認できるという事です。

一番大切なのが、実際に現場でやっている選手、指導者の皆さんが、最大の利益を得て、社会的な信用を得るのが目標というところだと思っております。

具体的には JFA から提案されている事ですが、私たちが、日々やっていく内容を説明します。

自立した適切なとありますが、各種別、または協会の会計が自立した適切なものを、どうしたら実現出来るかというところです。日々の会計処理を適切にやっているかどうかを、FA、協会事務局を含めて、財務経理委員会がセルフチェックし、JFA でも一部チェックするという内容になります。

資料の中に、「ガバナンス・コンプライアンス研修会」「セルフチェック研修会」とありますが、これは協会の中でも少し行っているものです。この様な事を継続的に行って、協会の中で拡げていきたいと考えています。

具体的には予算の策定、執行状況、決算の流れですが、先ほどから一番問題になっているのが、現金の取り扱い、入出金、帳票類の起票、これをセルフチェックシートに基づいて具体的に確認をしていきます。これは、委員会の口座、取引、入出金がすべて対象となります。

シートが様式 1 と様式 2 がありますが、富山県 FA から JFA へ提出しなければいけないシートとなっています。様式 1 は各種別から確認をしている内容になります。それについて、こちらから、説明をさせていただき、財務経理委員会が指導していく内容となっています。様式 2 は実際に、お金の記帳、流れをおっていくものを記入していく事に成ります。そうすると、そこに帳票類が存在しているのかをチェックしていくものです。

セルフチェックの実際の責任者は、財務経理委員会が担当をすることになります。

後は、業務量が増えるので、協会の中でどのような役割分担をするか、また、種別にどこまでお願いするのかを検討しながら、年 2 回提出となっています。

JFA が考えているのは 10 月と 5 月に FA の報告があります。このような形で報告をします。

全 FA が対象です。この 2 回報告ですが、FA の中で、3 つ選んで JFA へ報告してくださいということでアトランダムに選ばれる事になります。

1 次チェックは全 FA が対象です。その後具体的に確認が中々されていない FA には JFA から実際に現地でのやり取りも含めてチェックをさせていただきたいという内容です。ランダムに選定されます。

最後になりますが、これが研修会の中身です。遠藤理事からもありましたが、コンプライアンス委員会、ガバナンスの強化にも取り組んで、今後も定期的に皆さんに広めていきたい。そういった内容を今後とも進めていきたい。

財務経理委員会としては、協会で、年間行っている事業は 100 事業あります。

その 100 事業の提出をしていただいたもの、JFA 一括補助金以外も含めて 100 事業くらいです。

そういったものを、チェックをしながら自立した適切な会計にもっていけたらと思っています。

またご協力をお願いしたいと思います。

質疑応答

Q.男性（60代）

質問というよりも、今回のタウンミーティング、今まで総会しか発言の場がなかったのでこういう場を設けていただいて、皆さんどれだけ発言できる機会があるのかはわかりませんが、非常にある意味チェック機能の一端を果たしていると思うので、今回に限らず、今後も総会ではない場を設けていただければありがたい。

ひとつはお願いします。

色々なチェック機能なり、色々な項目で説明もありましたが、現場のスタッフ、現場で協会を支えている方々の負担をできれば増やさないでほしい。という願いです。どうしても皆さんボランティアでサッカーが好きで、指導や運営を携わっていらっしゃるの、そういう意味で、会計処理を正していかなければいけないのはわかりますが、全部現場に負担をかけすぎるのは何とか、協会事務局も経費がかかって大変だろうと思うがバランスよくお願いしたい。

A.遠藤副会長

ご意見ありがとうございます。

今いただいた意見は本当に協会の問題でありまして、皆さんボランティアでやっていらっしゃるの本当にそうなんです、後継者の問題です。ここまで忙しかったらやりたくないとい意見もよく聞こえてきています。

それを考えると皆さん非常に真摯に対応していただいているのですが、そういうところを改善していかなければと思っています。

貴重なご意見ありがとうございます。

Q.男性（60代）

こういうタウンミーティングを開会していただきありがたいと思っているのですが、いっぱい不祥事が起きた時の協会の事務局、専務理事、事務局長がいたが、今年、2020年の新しくなってからの事務局の体制、人数は増えているのでしょうか。

A.横井専務理事

ありがとうございます。

体制ですが、こんな言い方になりますが、0.5人という事で増えております。

財政的な問題もありますので、正職員という事はいかないので、パートの方で経理専門にやっていただく方を増やしました。

Q.男性（60代）

納品の時も人数を増やすということだが、それで人数がいるのか心配しています。

A.横井専務理事

今回の不正の中で、現金の中のやり取りの他に、納品されていないのに支払ったことがあったという事で、このような形にしているのですが、体制的には2人、ないし3人いれば、検品できると思うので、具体的には発注者がいて、納品し検品するものもいて、最後には請求領収書を再度確認するという形なので、現事務局の人員で対応できると今のところ考えております。

Q.男性（60代）

最後にもうひとつ、昨年の8月に滑川署に被害届を提出したと聞いているが、先ほど話もありましたが、色んな領収書の偽造が85件など協会内部で調べたと思うが、これだけ一生懸命調べられて、できたが、まだ滑川署はまだ何か調べることがあるのでしょうか。

A.横井専務理事

滑川署が何を調べているのかはこちらではわかりかねるのですが、協会の中では、一般論としては、捜査権がないので、皆さんの協力をへてお話を伺い、領収書などの物証を見て調べている。これを超えることは警察の捜査権で調査していると思っています。

答えになるかはわかりませんが、こちらは思っております。

Q.男性（60代）

ありがとうございます。最後に私も前年まで理事をしていたが、今まで3か月に1回の理事会や、4か月に1回の理事会で、上の方で話が決まって、その後理事会に報告という流れだったが、新しくなって毎月理事会を開催されていると聞いているので、これを続けているんな意見交換をしてあげてください。

A.根塚会長

ありがとうございます。

今、理事会は毎月1回開いています。できれば負担も多いので2ヶ月に1回にしようかと正直思っている。JFAとのやり取りもあり、情報共有するために、理事会は毎月1回、但し、90分以内で終わるようにしています。以前は、7時から10時まで話をする事も続いていて、できれば90分以内で終わるように心がけています。できれば今後は2か月に1回。理事会で確認する事項はその1週間以内か前週に役員会をし、足りなければコンプライアンス委員会にかけて、などかなりの手順をふんでいる。

早く、決議したい事もたくさんあったが、内容の間違いなどあり、一度保留にして、1か月後に報告するなど、確実な手順を踏んでいます。

Q.男性（50代）

皆様お疲れ様です。

不正会計のことが非常に取り沙汰されていますが、元々の根本自体は、公益社団法人になったときに、今までのボランティア感覚で物事を進めてきことが問題なのではないかと思っています。

質問ですが、県協会の現在の予算額について聞かせていただきたい。

その中で、富山県協会の人件費。事務局を雇っていらっしゃるもの。それから事業費はいくらなのかを大まかなもので良いので教えてほしい。

何故聞くかという、JFA くらい大きな組織だと色んなところから収入があるが、代表の活動で、収入もあるが、富山県は、実際はそれほど大きな収入がないのではないかと思います。ですから、収入の大きな事業をしなければいけないと思うのですが、私も審判関係をやっていますが、実は、審判の資格取得に係る皆様が支払う費用は非常に大きい。これをもとにいろんなところにお金が振り分けられていると聞いています。詳しくはわかりませんが、

逆に、審判が一生懸命、ボランティアで色んな活動をされているのが還元されていないと聞いています。

入ってくるお金、出ていくお金が適切に、事業計画自体が適切になればもう少しうまく回るのではないと思う。人件費は人件費としてみなければいけないのではと思う。

勿論理事の皆さんも、これに関して莫大なパワーと時間をかけていると思う。それに関してはそれなりのペイをしなくては

いけないと思います。

そう意味でお伺いしました。

A.安田常務理事

昨日、来年度の予算案を理事会で承認した。

全体としては、収益は各種別事業も含めての収益は 9,396 万 2,051 円です。JFA から一括補助金が 2021 年度は 3,938 万 7,213 円となります。

収益として登録料でいただいているもの、会費。その全体は 1,300 万程で、これが一番非常に大きいものです。この中から、JFA への上納もある。競技会、指導者。競技会で 1,100 万の収入、指導者養成で 1,800 万の収入があります。それも含めて 9,300 万くらいになります。

事務局の人件費は非常に苦しい中で、0.5 人増やしたというのも、ある程度今のギリギリの状況です。この後、会計の業務も増えていき、現場の皆さんの話もありましたが、事務局の方でもこれほどの会計チェックをしながら出来るかは課題とっております。

給与で出せているのは、全体で 1,500 万程度と思います。

これは JFA からまきている、一括補助金から人件費にあてても良いという金額があります。これが 1,000 万~1,500 万となっています。それを使わせていただいています。協会の中での事業での収益はいろんな形があれば、収益も考えられるが、中々そういうところを増やしていくと、コロナで中止になれば厳しい。どういう風に経営体質を確実にしていくかは課題だと思っています。

<<休憩>>

将来ビジョン「富山県を北信越一の都市にする ~サッカー・スポーツ・文化において~」

(公社) 富山県サッカー協会 会長 根塚 武

まず、富山の目指すところで、富山県サッカー協会は、1946 年にスタートし、今年で 25 年区切りで 75 周年になります。奇しくも JFA も 100 周年でこのような状況下で 75 周年やるのかという声もあったが、こういふときだからこそやるうという事で考えました。

この際、毎年アニバーサリーで良いのではとも思っています。

一昨日の理事会でこのロゴが 75 周年のロゴと決定して、今年の試合の集合写真の前にバナーかなんかで使用してもらいたいと思います。

バスケットボールがサッカーをモデルにしていますが、野球にはいろいろな団体があり、サッカー協会というのは全てのサッカーを統括する団体。個人的にはサッカーの言い方をやめてフットボールにならないかなと思っています。サッカー、フットサル、ビーチサッカー。7 つの障害者サッカーを統括する JiFF。これもサッカーを統括するとあるが中々一緒にならない。

7,8 人制サッカーもサッカー協会があり、統括することになり、e-sports もなりました。ウォーキングフットボールもウォーキングサッカーも団体があるらしく、そちらも統一しようという動きがあります。

先程の Jiff の言葉ですが、「サッカーならどんな障がいも越えられる。」とキャッチフレーズがありますが、アンプティサッカーの講習会も行った事があるが、これだけ不自由な事を体験して、逆にそれが、勉強になった。

サッカーを通してなら、どんなことも越えられるというのを学ぶ場なんだと思いました。

8月に会長になって言われたことですが、私は1日200人の患者を診ている立場でして、いきなり言われた言葉がサッカー協会の会長は給料が良いんですかと何人かの患者さんに言われ、全く無給ですと答えました。

ここにいる正式雇用の職員以外は全くの無給です。

JFAというのは、メンバーシップ制をとっていて、役員として、登録費を納めています。

審判としても登録費を納めていますし、ドクターとして日本スポーツ協会には公認スポーツドクターとして費用をおさめていますし、選手のコーチとして指導者の登録費も納めている。

多分一番私が登録費をおさめているのではないかと話しました。

また、他の患者さんからは、カターレ富山を強くしてくださいと言われました。

強くする権限はないが、強くする方策を、時間をかけてまくことはできると話しました。

この話をカターレ富山の山田社長と遠藤強化部長に話をしたところ、遠藤強化部長が高知県から参加してくれました。

「会長になるには年齢若いな。」という事も言われました。男性、女性、若い、立場を超えてという事は、本来スポーツなので、これを僕にいう事自体がスポーツマンシップに反していると感じました。

「よりよい協会にしてください」と不正報道もあったので、言われるが、何が良くて、何が悪いかわかりませんが、何となくイメージ的に言われているんだと思います。しかし、現実を踏まえて、今後どうするかをいくつか考えてきたので聞いてください。

ポジティブな事もひとつあり、高堂社長からはメジャースポーツでは、バスケよりサッカーはしっかりしていると言われた。ぜひともサッカー頑張ってくださいと会長になった直後にいただきました。

富山県バレーボール協会の西川会長からはスポーツは公益性が高い文化なので、忘れないで活動してくださいと言われました。

今後、コンプライアンスを遵守して透明性のある運営したいと思います。

現在、色んな法令を作っているが、「FOOTBALL は社会のチェンジリーダー」と思ってやっている。何故これを一生懸命やっているかというと、みんな色んなことを真似したいと思うが、僕らも横井専務理事を中心に色々やっているが、競技団体規模からいうと、他の競技団体や隣県の競技団体が「富山県がこんなことをやっている。」模範となるような事を創ろうと思っている。

今回いきついたのは、あまりにも日本一になるチームは、少しは出てきても良いが、全てを日本一にするというのは到達出来ない目標をもってしまうのは、責任を放棄したり、やる気を放棄したりするのと同じで、少し頑張ってやれるような事を目標として掲げるのが良いと思いました。

現状、グラウジーズの選手も診させていただいていて、黒部アクアフェアリーズの整形外科担当でもあるので、他の競技の選手の声も良く聞きます。その様な事から「サッカー、他競技、文化において北信越一の都市にしたい」ということを私のキャッチフレーズにさせていただきたいと思います。

これで、スタンダード、日本のトップに近づきたいという価値や判断基準で見たいと思っています。

では、変わらないもの、変えてはいけないもの、色々あるが、少しお話ししたいと思います。

富山県は非常にありがたい所で、立山があるおかげで地震はきませんし、雪は少しありますが、台風は来ませんし、そういうところで、何となく暮らせてしまうところから高い場所に行きたいと思っています。

共生社会、他競技との連携や障がい者の方々などの広いネットワークをもってやりたいなと思っています。

これは数年間で強化したい事業です。

今年は富山県 FA75 周年、JFA100 周年です。富山のロゴのもとに 1 年間皆さんとともに活動したい。

障がい者サッカー、障がい者サッカーという障がい者だけのサッカーとなるので、障がい者と小学生を総括してやるという事。これが今インクルーシブフットボールという形です。富山にもともと障がい者サッカーでアミザーデという活動もありますが、その方々とも手に手をとって、JFA の支援事業にもなっているので、こういう事もやっていきたいと思っています。

後は、2022 年から女子の国体が U16 になるので、それに向けて北信越代表を獲得したい。

田嶋会長も言われましたが、富山から優秀な選手も出ています。近年では、なでしこ JAPAN の宝田選手などもいます。

小学校から、富山にチームが無いから、県外に出てしまう。それで成長すれば良いのですが、中々そういう事も出来ない。今、トレセン事業で女子トレセンがありますが、関氏を中心に発展させて、U12、U13 の段階から強化したいと思ってスタートしたところです。

後は 1 年おきに開催しているフットボールカンファレンスを 2022 年 1 月に開催する予定です。

このような会が複数回行われるというのも問題があるので、カレンダー上難しいところもあるが、カンファレンスの場の一部にこのような場を設けてさせていただき、サッカーの人が一堂に会する場をつくりたいと思っています。

では、ここ数年間でお亡くなりになられた方を紹介したいと思います。

小杉の少年サッカーを立ち上げられた倉橋さん。

次に中川勇さん。富山県や北信越のクラブユース連盟の役員をされて、FC ひがしを立ち上げて、倉橋さんが小杉を立ち上げるよりも中川さんが FC ひがしを立ち上げるのが早かったら柳沢はいなかったかもしれない。とそういう風を感じています。FC ひがしのクラブを作る時にかなり色々な思いがあったと僕も聞いているので、先駆者となってやっていくというのは、非常に功績はすぐわからないが、後から大きいものだと思っています。

シニアの雷鳥クラブの坂田伸吉さん。富山商業高校のサッカー部が一度廃部になるんですが、また立ち上げる時に OB として、一生懸命動かされた方です。

不二越工業高校の監督をされていました酒井清彦さん。不二越工業高校の基礎を築いた方で、選手も診させていただきました。

シニアサッカー連盟の会長をされていました塩谷先生。大学高専サッカーリーグという小さいリーグでしたが、ちゃんとしたリーグ戦を年通じてやろうと、塩谷杯という名のもとにやってくれました。

他にも紹介しなければいけない方もいるが、関係の深い方を紹介させて頂きました。

こういった事もふまえて 75 周年を進んでいきたいと思いました。

こういうことを考えて幸福とは何かということで、幸福とは「何か」という決まったものがなくて「どうするか」というプロセスが大切。こうやって皆さんと時間を共有をしたり、何をするか考えることが大切。

「何か」は大切ではないなと思います。

数年後に J3 から JFL への降格がある。

今、北信越では Jリーグが 5 チームです。長野は 2 チームあります。実は、私が大学卒業して、色々関わるようになった時に、1990 年代前半の Jリーグが始まったころ、北信越リーグはどのような状況だったかという、富山から 4 チーム参加しており、YKK、北陸電力、西友クラブ、富山クラブという構図だった。それが 30 年くらい経つと、今の様になるとは

思わなかったが、J1、J2、J3リーグが出来、競争社会に成ったときには、どうでしょうか。

これは富山の問題ですから、遠藤強化部長に頑張ってもらいたい。

それでは、変えてはいけないもののお話をします。東京オリンピック直後に当時のデットマール・クラマーさん。5年前に亡くなられましたが、少し前に本を買って読んだのですが、1964年の五輪直後に5つの提言があり、これは変わらないものです。たくさん遠征をしましょう。試合、厳しい試合をしましょう。試合経験をつみましょう。指導者を養成しましょう。リーグ戦を整備しましょう。実は富山県は2種にTリーグがあって、全国に先駆けてかなり前からやっています。これに倣って全国で整備されてくるとほぼ横並びになってしまう。指導者をしっかり組織化しましょう。ネットワークを作りましょう。当時、芝生のグラウンドがあまりなかったので、芝生のグラウンドを整備しましょう。これはずっと変わらないもの。厳しい試合をしましょう。指導者養成、試合のリーグ戦、ホーム&アウェイにしましょう。ホームならホームのグラウンドを用意してはいけないし、アウェイにいかなくてははいけない。指導者の組織化というのはどういう事かという、上から教える教えるのではなく、お互い学びあう。指導者はネットワークがなく一方通行になりがちです。学んだ中から指導者同士のネットワークが必要です。

デットマール・クラマーの言葉ですが、サッカーと人生をつなぎあわせると色々あるかもしれないが、サッカーはパスを受ける側の立場になって、とサッカーから学ぶことはたくさんある。

これは、JFAのフットボールカンファレンスのスライドをメモしたのですが、今も、実はいろんな細かいクレーム対応も協会に寄せられているが、指導者の資質の向上が必要です。指導者のライセンスを持つだけでなく、しっかり勉強すること。サッカーを楽しむすべての選手、子供たちを守ること。

モラルの向上。暴力、ハラスメントの根絶。そうならないように気をつけたい。

そして、質の高いコーチングが必要です。

次は指導者の人数の問題です。富山県民のメンタリティだったら、人口、選手、審判の割合で見ているが、人口は簡単に変えられないが、石川県より少し少ないけどいいかと思うが、選手の人口比率をみると、最後じゃなくて良かったとなる。どうして1番ではないのとならない。

審判の総数は新潟県がトップだが、人口比だと変わらない。指導者の数は富山県は4番目。大体が中位から少し下。

サッカーに関わる人をサッカーファミリーといいますが、親やおじいちゃん、おばあちゃん。そういう方も含めてまわりの方の事をいいます。

先日のフットボールカンファレンスで出てきた言葉で、最終的に勝ち取るのはテクニックや戦術ではなくて人間。質や能力、勝ちたい意欲もあるかもしれない。失敗体験から成功につながる。

これは、すぐに勝った負けたではなくて、小学生くらいからやっていて、小さいころからそういう体験がないと頂点までいけない。ネットワークを作って対話をしっかりしてほしい。

最後はグラウンドの話です。グラウンドは富山には天然芝グラウンドはあるが、人工芝グラウンドは多くはない。

富山は第一高校のグラウンド、日医工の会社のグラウンド、日医工フットボールアカデミー、永森グラウンドがある。日医工会社のグラウンドは実際にオープンに使えるわけではない。実際に少し少ない。グラウンド1面に対する登録者数は4番目。

これまでの評価ですが、リーグ戦の整備はリーグ戦をしっかりとしてもらってきたので、審判の数には反映されている。試合数、経験数はリーグ戦が整備されていくと中々厳しい試合にいかなくなる。

国体なりアカデミーなどで強化費を使ってやっていく。

数年後に J3 から JFL に落ちるのが現実的になる。中位で良いとか、という考えはやめないと厳しい。

本気で目指した結果 J2 や、目指した結果 J1、スタジアムが必要だったら、J リーグのチームが一生懸命に試合をして、スタジアムを作らなければという事をまわりに言っていけないといけない。

街中スタジアムという話もありますが、現実的ではない。多くの観光客が富山へきて、バスケットを見ましょ、バレーを見ましょとなり、ではいろいろなものを作らなくてはいけないとなるのは、構想から 10 年 20 年かかる話です。

1 年前に石川県で JFA フットボールカンファレンスがありましたが、僕の思いとしては、駅裏のオーバードホールを使ってこういう場をやって、S 級ライセンスの方を読んで、交流が出来るかもしれないと思っている。

冒頭にいったが、4 つの強化をやっていきたい。1 年数か月しかないが、僕のいる間に少しでも礎を築いてやっていきたい。

県内サッカー関連施設紹介「射水市フットボールセンター（仮称）」

射水市生涯学習・スポーツ課 様

大変お忙しい中このような時間をいただきありがとうございます。

日頃からサッカー協会はじめ、サッカー関係者の方には日医工スポーツアカデミーをはじめ、サッカーの振興にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

今回は、新聞報道でもありました射水市の方で、フットボールセンターを建設予定しておりますのでその概要について説明させていただきたいと思っております。

まずどこに作るのかということですが、富山新港の海王丸パーク、新湊大橋の東側が整備予定地となっています。射水市としては、海王丸パークの近くで観光に賑わいのある施設も多く、観光客が多くなる施設もあり、力をいれているここで賑わいを創設したいと考えております。

概要についてですが、工事費は約 16 億円です。サッカー協会のご協力をいただき、JFA サッカー施設整備助成金を活用させていただきながら事業をさせて頂きたいと思っております。

人工芝 2 面、屋根付きフットサル場を 1 面を整備予定としています。

人工芝 2 面の間にクラブハウスを作り、クラブハウスの屋上から観覧可能に整備予定です。

特徴的な取り組みとしまして、今回この施設においてローカル 5G 環境を整備しまして、あわせて AI カメラを 2 台整備予定としています。

こうすることで、ライブ配信や遠隔指導をしていきたいと考えています。

せつかくの施設ですので、全国大会や大規模大会の誘致に力をいれていきたい

これまで配信されていなかった大会や試合のライブ配信を AI 技術で簡単に提供したい。これがコンセプトです。

どんなカメラなのかを説明します。1 つのカメラに 4 つついている。

パノラマ映像を撮影し、ひとつにあわせて、選手一人一人を追いかける性能もあります。

SNS などにも簡単にストリーミング配信も出来るように常備しようと思っております。

イメージがつかめなかったと思うので、先ほど 4 つのカメラで撮影すると言いましたが、上が 4 つの画面をつくり、合成した画面ができます。作り上げたパノラマ映像に AI がどの選手、どの場所を追いかけるのかを切りだして、プロのカメラマンのカメラワークを実現する機能をもっています。

グラウンド 2 面の人工芝に 1 面ずつに 1 台ずつを設置するので、いろんな大会で撮影が可能です。

選手育成においても活用できるのではないかと考えています。サッカー関係の方へは施設完成後に是非使用していただきたいと思っています。申し遅れましたが、工事は令和 3 年度 4 月ころから工事着工に入り、年度内には完成を目指しており、あと備品の搬入などがあるので、実際の開業は令和 4 年の 5 月後半くらいの開業を予定しています。是非皆様におかれましては、開業後に利用いただきますように周知していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

県内サッカー関連施設紹介「高平メモリアル常願寺スポーツパーク」

常願寺川公園スポーツクラブ様

本日は県内サッカー関連施設の参考事例ということで皆様にご説明させていただきたいと思っております。

本日出席の皆様には日頃より大変お世話になっておりありがとうございます。

それではご説明させていただきたいと思っております。

一般社団法人常願寺川公園スポーツクラブが運営母体です。

これは地域総合型スポーツクラブで活動しているスポーツ団体です。

クラブにとって大きな転機となりましたのは、2016 年 7 月 30 日に、当時県内初のクラブ運営人工芝グラウンド「高平メモリアル常願寺スポーツパーク」を開業しました。ご来場いただいた方もたくさんいらっしゃると思います。

名称について説明させていただきます。当時初代会長 高平公嗣さんですが、この計画の途中で急逝され、計画自体見直す意見も出たのですが、何とか当時の会長の思いを受け継いで、実現させたいという事で、皆様のご協力もいただき実現させました。そういった意味で「高平メモリアル常願寺スポーツパーク」という名称にさせていただきました。

県内クラブ唯一のフルコート人工芝グラウンドで当時、多くの方に注目していただきまして、すぐに、いろんな方に使っていただきました。

約 1 年半後の 2018 年の 3 月にはグリーンビレッジという事で、クラブハウスを整備しました。

この特徴が県産材の杉を活用し、これは県の補助金の「木の香る街づくり事業」という事で、環境保全の観点からも、県内の材木を有効に使うことで、こういった仕様にさせていただきました。

お陰さまで、これで 4 年すぎまして、今度の 7 月で 5 年となりますが、県内サッカー競技の主要会場として定着してきたかなと思います。

具体的には、県サッカー協会の公式戦がほとんどですが、U15 リーグ戦やクラブユース連盟の選手権、新人大会。また、指導者養成講習会、U13 リーグなどです。

また、特に公式戦がないときは地域の子供たち、雪の中でサッカーをしている写真もありますが、無料で開放し、サッカーやったことのない子供たちにも来ていただいています。また、「ふなはしカップ」ですが、地元の企業の皆様のご支援をいただき、大会に参加した子供たちに農産物を提供しました。サッカー関係者だけではなく、応援してくれる方にも足を運んでいただく機会となりました。

グラウンドの特徴のひとつが、協賛広告。ピッチ看板、ベンチ看板。地域のスポーツクラブのグラウンドですが、プロと同じ仕様の大きさのピッチ看板としました。金銭的な応援も大切ですが、地域のみんなでサッカー場、スポーツ施設を盛り上げようという輪をひろげたい思いで看板を出していただいております。

後は、県内の大会でも使うが、合宿誘致、県外を誘致。今はコロナで中々できませんが、2018 年福井で国体の際に、青森山田高校が事前合宿で使用していただいた。

県外の強豪チームに来ていただく事も大事ですが、報道でも部活動で教員の方の時間の問題がありますが、スポーツクラブとしてもスポーツエキスパートの派遣事業で、雄山高校サッカー部の指導もクラブが指導をして、この施設を使ってもらい社会の課題解決にも取り組んでいきたいと思っています。

環境保全活動に力をいれていまして、グラウンドの横に「エコピット」という古紙回収ボックスをおいて、皆さんに段ボールや雑誌などを持ってきてもらい、これを運営資金にかえて、運営資金が目的ではなくて、子供たちの環境保全の意識を変えていきたいと思っています。

災害時の協定締結、富山県と舟橋村と協定を結んで、スポーツ施設は、有事の際の避難所などに活用できるのが好ましい。写真は炊き出しの練習の写真です。

年間来場は 65,000 人程度。たくさんの方に来ていただいています。

クラブの理念が、スポーツの力で地域を元気に、地域の為になることをどんどんやっていきたい。スポーツはそのきっかけのひとつと捉えています。防災や地元とのつながり、青少年の健全育成、環境保全活動、スポーツを環境資源としてやっていきたい。

スポーツをきっかけに地域を発展させるようにしていきたい。

ネクストドリームという事で。

防災の観点からも屋内施設や、会長からも県内人工芝グラウンドが少ないという話もありましたが、人工芝をもう 1 面や色々な機能を充実させていきたいと次の構想も検討段階には入って次に向かって頑張っていきたいと思っています。

これに関しては、また皆様のご指導ご鞭撻をいただきたいと思います。

富山グラウジーズ 高堂孝一 様 コメント

株式会社富山グラウジーズ 高堂孝一 代表取締役社長

始めまして富山グラウジーズの高堂です。

今日はこのような会に参加させていただき感謝しております。

時間もあまりないと思いますので、私の思いを何点か話させていただきたいと思います。

先程根塚会長から話していただいたが、サッカーが日本で一番のスポーツ、その次に各スポーツがありますが、つづくのはバスケットボールだと思っています。

ビジネス面において、三角、四角、丸という事をスポーツビジネスとして思っている事があります。

三角、これは競技者のことです。トップがあり、その下、スクール生などがある。上にあがっていくほどトッププレイヤーになる夢につながる。

四角は、スタジアム。箱です。バスケットではアリーナ、後は練習施設。丸は支援者、ボランティアや指導者、こういったところをどう大きくしていくか、この 3 つのバランスをよくしていくのが、スポーツビジネスが上手くいくのではないかと考えています。

四角の箱を見るところでは、私どもが使っている富山市体育館は 4,800 人しか入らない。どれだけお客様が見たいといってもこれだけしか入りません。

サッカーは 20,000 人以上入る県総合運動公園がある。ここをいっぱいしてくれることがバスケにも助かることです。バスケとサッカー、他のスポーツと融合することによって、お客様をとりあうのではなく、シーズンがかぶっていないという事もあるので言えるかもしれませんが、夏場にはサッカーを見て、冬場にはバスケを見てもらえる。サッカーに 20,000 人入っていただければそのうちの 4 分の 1 の 4,000~5,000 人が入っていただければ会場がいっぱいになってくれます。こういうところで、数字の面で私どもも頑張っていきたいと思っていますし、皆様がサッカーを一段と盛り上げていただきたいと思います。

私も小学校の頃までは、大庄小学校でサッカーをしておりました。それなりに頑張っていました。そこからスキーをし、バスケとはというと、競技としてのバスケの経験はありません。

そういう中で、ただ、立ち上げ後グラウジーズは 15 年経ち、立ち上げから携わって今日までになります。競技者目線というより支えるという目線でおります。

ここにいらっしゃる方でグラウジーズの試合を見られたかたがどれくらいいらっしゃるかわかりませんが、少子化になっている中で、やはりまだ聞こえているのは、「俺はサッカーが好きだからバスケより」「俺バスケ見るからサッカー見ない」という声を聞きます。できるだけ、こういう声をなくしていきたいと思っておりますので、この会に参加させていただきました。これからもどうぞよろしくお願い致します。

カターレ富山 遠藤善主 様 コメント

株式会社カターレ富山 遠藤善主 強化部長

カターレ富山の強化の遠藤です。現在、キャンプに同行しており高知県に居ます。

まず、日常のところから日頃から、カターレ富山のご支援、ご協力いただきありがとうございます。

我々もそういった事に応えるべくキャンプを行っています。

私自身も、昨年 12 月にこの役に就任しました。それまで、JFA のトレセンコーチで北信越担当し、選手、指導者の皆さんと協力して、富山県のベースが上がっていく、子供たち、選手たちが生き生きワクワクプレーする毎日を通していました。今回カターレ富山を J2 に復帰させていくということでこの任を承っております。みなさんよろしくお願い致します。

少し、2021 年度の編成のポイントとこれからどうしていくかをかいつまんで話します。

先程グラウジーズの高堂社長も仰っていましたが、やはりスポーツを通じて、富山県が元気になっていく、そしてカターレ富山が富山県の一部になっていく。これが最終の目標です。そのために J2 に復帰していく。今回、新しい社長がメディア等でも発表されたと思います。元いた場所にもう一度戻る「復帰」という言葉を伝えましょと発信しています。ただ、J2 復帰だけではないです。その上に、J1 というステージが待ち構えています。それに向けて一步一步頑張っています。また、今回、監督、新加入の選手を 10 名入れさせていただきましたが、皆さんご存知の通り、石崎監督は J リーグ 691 試合の経験がある。年齢は 63 才ですが、本当にアグレッシブな監督です。基本ベースの徹底をしています。新加入、若手からベテランまで、バランスよく新加入した中でも富山県出身の大崎淳矢もそのうちの一人、今季は 5 名、高橋駿太、大崎淳也、佐々木陽次、松岡大智、馬渡隼暉と 5 名の富山県の選手がいます。

FC ひがしや、富山北 FC、JK キッズなめりかわなど色んな 4 種から選手が育ってきています。

開幕、3 月 14 日、アウェイスタートですが、それに向けて一步一步チャレンジしている最中です。

カターレ富山を通じて富山の皆さんが、当事者意識というか、仲間意識をもって一歩ずつ進んでいきたいと思います。またご協力のほどよろしくお願ひいたします。

質疑応答

Q.男性（60代）

射水市のフットボールパークについて教えていただきたい。現在 F リーグのマッチコミッショナーをしているのですが、射水市にフットサルコートを作る話があり、この前の U18 の大会の時に富山県のフットサル連盟の方より話を聞いたが、できれば、今山田村の体育館がフットサルとして使える、ようするにピッチに線が引いてある。

富山県には中々その環境がないので、射水市がその観光と含めてできると聞きました。

非常にありがたいです。それに加えてフットボールパークでフットサル場ができるという事でとてもありがたいですが、今、着目させていただきたいのが、カメラですが、このカメラはどこのメーカーなのかなどを教えていただきたい。

A.射水市生涯学習・スポーツ課 様

AI カメラですが、今、映像で映ったものを想定しています。メーカーはですが、「ピクセロット」という製品名のものを想定しています。イスラエル製だだと思います。日本で取り扱っている会社が何社かあるようですが、射水ケーブルネットワーク様を通じて調整しているところです。

Q.男性（60代）

実は、私、審判もしているので、審判の育成のために、フットサルの審判の為にも使わせていただければと思ったので良い情報でした。ありがとうございました。

Q.男性（60代）

12月に高校生の全国大会の子らをつれて市長に表敬訪問した時に、市長もこのフットボールセンターができるので頑張りましょうと言っていらっしゃいました。

私の希望として、令和4年の5月にオープンですね。これは、予定はこの通りでしょうか。

できれば1か月、4月にというのは難しいのですかね。

というのは、県内の天然芝は4月に使えないので、できれば、4月に人工芝使えるようにしてもらえれば

射水市の子供たち、少年サッカーの大きな大会も4月の初めにあるので、できればそれに、あくまで希望ですが、またその辺を市長にお伝えください。

A. 射水市生涯学習・スポーツ課 様

大変難しい話ですが、先ほど担当からも伝えましたが、工事の方の完成は、3月までと思っていますが、早まってくれば前倒しはできる可能性はありますが、基本的には5月を目標に進めております。

Q.男性（60代）

予算もたくさんついて、射水市サッカー協会としても大変喜んでます。

Q.男性（50代）

お疲れ様です。十何年ぶりに見る方もいてすごく感謝しています。

根塚会長、JFAも含めて5つか6つの柱を言っていただきましたが本当にその通りだと思います。

ただ、私がずっと思っている事です、指導者養成やリーグ戦整備は、富山県は先進的になってきたが、Jリーグを含めて、各都道府県協会を含めて、サッカー、バスケット問わずだと思いが、マネジメントできる人がどうしてもいない。私たちは選手上がり、経験者。

先程高堂社長が雄山高校と言われ、私の教え子なのですが、スキーやってもバスケットに関わっている。常願寺の安田さんも立派な施設で、選手をやっていたけどもマネジメントしてらっしゃる。

そして、理事になられた方の中にも、選手をやっていたけど今はクラブのマネジメントを一生懸命されている。そういう人づくりをこれからやっていかなくては、いけないと思う。これが JFA の柱にはひとつ足りないと思っています。富山県がこの先進事例として、こういったところも取り組んでいただければと思っています。私たちもすでに 60 歳近くで、年をとるばかりで、次の若い人が組織の運営やクラブづくり、部活動の問題、部活はクラブが支援していくしかない。そういったところの社会課題などの人づくり、人材が大切になってくると思うので、そういったところにどういったところに力をいれていただければと模索していただきたい思います。

それができれば、スタジアムづくりにも派生すると思います。是非富山県協会として先進の道、最先端の道にいていただきたいと思います。

要望となってすみません。

A. 根塚会長

ありがとうございます。

変わらぬものの中に人づくりと書きながら、作りこみが足りませんでした。すみません。

また勉強させてください。ありがとうございます。

閉会挨拶

(公社) 富山県サッカー協会 副会長 石崎 大善

本日は土曜日にも関わらず、多くの皆様方にお集まりいただきましてありがとうございました。

長時間タウンミーティングという事でしたが、積極的なご意見をいただきました事に関しても感謝申し上げます。

初めての取組みであったと思いますが、皆様からのお話をお伺いしているに、おおむねご理解いただけたと思っております。

また、個人的には根塚会長の会長方針を皆様と共有できた場となって良かったと思っております。

話にもありましたが、我々サッカー協会は、情報開示、情報公開を強化しております。ホームページ等々で色んな情報も更新、公開させていただいておりますし。

次回のこういう会は 6 月の定時社員総会となると思いますが、いろんなツールでも確認いただきたいと思っております。

根塚会長の元、一丸となって我々理事を中心に富山県サッカー協会動いていくと思っております。

手前味噌ではありますが、またご意見の中に良いのか悪いのかという話もありましたが、現状、ここにいる理事全員がリーダーの心を持って、富山県のため、富山県サッカーのため、次世代の子供のために時間や労力を使っているという事を改めて私のほうからお話をさせていただきたいと思っております。

個人的には、富山県サッカー協会の失った信頼はまだまだ回復できていないと思っておりますが、失った信頼を回復するという大変なことに向けてしっかりと進んでいるという事に関してご理解をいただきたいと思っております。

まだまだ、寒い日が続きますし、コロナの感染拡大の状況についても予断を許さない状況だと思いますが、そんな中で春以降の事業もどくなるかという事もありますけど、健康に気をつけながら、皆様が日々素晴らしい時間を過ごされることを祈念しまして、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。